



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

6年生修学
旅行写真、
多数掲載
中！



西郷小学校

令和元年 第31号

令和元年10月28日

文責 校長 田中裕子

20日の日曜参観にはたくさんの方々においでいただき、有り難うございました。

今年は、例年の流れを変更し、授業参観を上下学年に分け、その間に教育講演会を実施しました。そのため、各教室ではこれまでにない人数の保護者の方がぐるりと教室を囲むという状況になり、教師も子ども達もやや緊張した中での授業となりました。その中でも精一杯声を出して発表する子ども達がたくさんいました。こういう中で自分の力を発揮できるというのは素晴らしいことです。

家庭教育講演会にも40～50名の方が参加してくださいました。学力向上にはご家庭のご協力が欠かせないことを東部教育事務所 岡指導主事から具体的に話していただきました。

学校からは、学力向上に特化した「ぐんぐん」を配布しております。佐賀県の子ども達は、全国に比べ、休日の学習時間が短いというデータがあります。読書も学習時間ととらえ、毎日何かしら学習することが当たり前という習慣を共に作っていきたいと切に願っています。



神崎市では、11月1日～7日を学校フリー参観週間に設定しています。参観においでの際は、事務室までお声かけください。

6年生の顔つきが変わっていききました

24～25日は6年生の長崎修学旅行に随行しました。たった2日間かもしれませんが、その短期間にも大きな成長を感じることとなりました。最後の解散式で子ども達には伝えましたが、3つの大きな成長を6の1の良さとして話しましたのでここに紹介します。

1 メリハリのある行動がより一層できるようになりました

オンオフの姿が見ていてとても気持ちよいのです。せっかくの修学旅行ですので、楽しみたいという気持ちは当然あります。しかし、学びという側面もまた大きいのですが、自分達で考えて注意し合い、今は静かに話を聴く、学ぶという時には素晴らしい集中力を発揮していました。疲れていたであろう解散式においても、静かな佇まいができている姿に感動しました。

2 公の場でのふるまいを身に付けることができました

校外に出るというのは、公共心を養う絶好の機会です。今回平和学習やフィールドワークにおいて、どのような行動が良いのか、時折眉をひそめなくなるような行動を目にしたことで、自分を振り返る機会をもった子ども達もいたようです。

また、出発式、被爆者の方による講話、ホテル等での挨拶を子ども達がしたのですが、自分の言葉で伝えたいと必死に言葉をつないでいました。たとえたとどしくても心に響きます。

3 周囲に心地よい空気をつくりだせていました

この力こそ集団でしかできません。一緒にいたこの2日間、自然に穏やかな空間ができていたように、引率した職員皆が感じていました。その空間はとても心地よいもので、こういう雰囲気をつくり出せるようになった6年生に大きな成長を感じ、大変嬉しく感じました。



<みんなで作った千羽鶴を捧げます>



<挨拶をきちんとやります>